

## 富山高等専門学校

## 【全学科共通】

<p><b>◎教育理念</b> 創意・創造、自主・自律、共存・共生</p>
<p><b>◎教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」 高等専門学校の目的は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。</li> <li>「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」 社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。</li> <li>「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」 研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。</li> </ol>

## 【学科ごと】

	◎教育目標	◎アドミッションポリシー (求める学生像および入学者選抜の基本方針)	◎カリキュラムポリシー (教育課程の編成方針)	◎ディプロマポリシー (卒業認定方針)
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機械設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。</li> <li>機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。</li> <li>機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。</li> </ul>	<p><b>◎求める学生像</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機械・構造物、機械システムに興味がある人</li> <li>想像力豊かな機械技術者になりたい人</li> <li>エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人</li> </ol> <p><b>◎選抜の基本方針</b></p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>機械システム工学科は、機械系、機械システム系の知識、技術を総合的に学習し、機械設計、技術開発等を手がける創造性・探究心豊かな技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、数学、物理、化学などの理系教養科目、および英語、国語、歴史などの文系教養科目を多く配置し、高学年に進むに従い機械工学、機械システム工学に関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>機械を構成する材料の物性、製造方法、加工・生産技術や、機械設計に欠かせない材料、熱、流体、機械の力学、電気・情報処理など、幅広い知識と技術、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成します。</li> <li>新しい技術を作り出し、社会に貢献できる総合的な能力を育成するために、実験・実習・基礎研究・卒業研究を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>機械システム工学科は、機械系、機械システム系の知識、技術を総合的に学習し、機械設計、技術開発等を手がける創造性・探究心豊かな技術者の育成を目的とし、所定の単位を修得し、かつ以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機械を構成する材料の物性、製造方法、加工・生産技術や、機械設計に欠かせない材料、熱、流体、機械の力学、電気・情報処理など、幅広い知識と技術、応用力を身につけ、それらを応用したものづくりができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。</li> </ol>
電気制御システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。</li> <li>工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。</li> <li>電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。</li> </ul>	<p><b>◎求める学生像</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人</li> <li>ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人</li> <li>創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人</li> </ol> <p><b>◎選抜の基本方針</b></p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>電気制御システム工学科では、電気、機械、情報工学の知識、技術を総合的に学習し、ものづくり、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、一般教養科目である数学、物理などの理系科目、英語、国語などの文系科目を多く配置し、高学年に進むに従い電気、機械、情報に関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>電気工学、機械工学、情報工学の3分野に亘る幅広い知識、技術と応用力、技術者として必要な技術者倫理が身につくようにバランス良く授業科目を編成します。</li> <li>新しい技術を作り出し、社会に貢献できる能力を育成するために、実験・実習・基礎研究・卒業研究を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>電気制御システム工学科では、電気工学・機械工学・情報工学の知識、技術を総合的に身につけた実践的技術者の育成を目的として、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>電気工学、機械工学、情報工学の知識、技術を総合的に身につけ、それらを応用したものづくりができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。</li> </ol>
物質化学工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学・生物学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。</li> <li>環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。</li> <li>地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社会的構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。</li> </ul>	<p><b>◎求める学生像</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>化学の世界に興味を持っている人</li> <li>地球と人にやさしいものづくりをしたい人</li> <li>持続的社会的構築に貢献したい人</li> </ol> <p><b>◎選抜の基本方針</b></p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>物質化学工学科は、化学、生物を基礎として、物質化学に関する基礎から最先端にいたる化学を総合的に学習し、環境保全を常に意識しながら、身につけた知識と技術を用いて社会に貢献できる倫理観を持った技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、数学、物理、化学などの理科系教養科目および英語、国語、歴史などの文科系教養科目を多く配置するとともに、技術者の有すべき倫理に係る授業を配置します。高学年に進むに従い有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生物・生命化学およびそれらの応用に関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生物・生命化学および材料化学、さらにエコテクノロジーや環境科学といった環境を意識した幅広い物質化学に関する知識と技術、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成します。</li> <li>新しい有用物質や技術を作り出し、社会に貢献できる能力を育成するために、実験・実習・基礎研究・卒業研究を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>物質化学工学科では、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>物質化学の中心分野である有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生物化学の知識・技術を身につけ、それらを応用した物質創成や技術の開発ができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献出来る。</li> </ol>

	◎教育目標	◎アドミッションポリシー (求める学生像および入学者選抜の基本方針)	◎カリキュラムポリシー (教育課程の編成方針)	◎ディプロマポリシー (卒業認定方針)
電子情報学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。</li> <li>センサからインターフェースを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。</li> <li>プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。</li> </ul>	<p>○求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人</li> <li>情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人</li> <li>自ら考えて行動できるエンジニアになって、社会に貢献したい人</li> </ol> <p>○選抜の基本方針</p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>電子情報工学科では、電子工学、情報工学、通信ネットワークの知識、技術を総合的に学習し、ものづくり、創造的な技術開発が育成できる技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、数学、物理、国語、英語、社会などの一般教養科目を多く配置するとともに、高学年に進むに従いハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>電気電子制御システム、システムインテグレータ、ネットワーク通信システムの分野に亘る幅広い知識と技術、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成します。</li> <li>新しい技術を作り出し、社会に貢献できる能力を育成するために、実験・実習・基礎研究・卒業研究を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>電子情報工学科では、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>電気電子工学、情報工学、通信ネットワーク工学の知識・技術を身につけ、それらを活用したものづくりができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。</li> </ol>
国際ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関する専門的な知識を見につけ、活用できる人材を育成します。</li> <li>英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力を身につけたビジネスパーソンを育成します。</li> </ul>	<p>○求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>外国語や異文化に興味がある人</li> <li>ビジネス分野の知識を身につけたい人</li> <li>国際的な視野をもって社会で活躍したい人</li> </ol> <p>○選抜の基本方針</p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>国際ビジネス学科では、経営学、外国語と異文化理解、情報処理の知識、技能を総合的に習得し、地域社会と国際社会の両方を視野においてビジネス社会に貢献できる創造的なビジネス・パーソンを育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、総合英語、環日本海諸国語、歴史、地理などの一般教養科目を多く配置するとともに、高学年に進むに従い、ビジネス、外国語、情報処理に関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>ビジネス、外国語、情報処理分野に亘る幅広い知識と技能、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成します。</li> <li>新しいビジネスを創出し、地域及び国際社会に貢献できる能力を育成するために、英語圏と環日本海諸国語圏への海外異文化実習をはじめ、企業見学、プレゼンテーション、及び卒業研究などの教科横断的で能動的な学習経験を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>国際ビジネス学科では、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>経営学、外国語と異文化理解、情報処理の知識、技能を総合的に身につけ、それらを活用したビジネス活動ができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。</li> </ol>
商船学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶のスペシャリストとして必要な専門知識を身につけます。</li> <li>船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築ができるように実験や実習を通して専門的な能力を育成します。</li> <li>船舶システムを良好に運用するのに必要なマナーとシーマンシップを実習や検定によって習得します。</li> <li>専門的な応用力が開発できるよう、知識、技術、管理能力における基礎力を育成します。</li> </ul>	<p>○求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>海や自然が好きな人</li> <li>大型船の船長や機関長をめざす人</li> <li>大きな機械のエンジニアをめざす人</li> <li>世界中の国々で活躍したい人</li> </ol> <p>○選抜の基本方針</p> <p>◇推薦による選抜 推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>◇学力検査による選抜 中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。</p>	<p>商船学科では、海や船に港に関する知識や技術を総合的に学習し、海や陸で活躍できるスペシャリストを育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低学年では、理系教養科目および文系教養科目を多く配置し、高学年に進むに従い航海や船用機関に関する専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成します。</li> <li>航海コースでは、航海学、船舶運用学、海事法規、商船実務などを、機関コースでは主機・補機、電気・電子、機械、商船実務など幅広い知識と技術、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を配置します。</li> <li>船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築を行って、社会に貢献できる能力を育成するために、実験・実習、乗船実習、基礎研究、卒業研究を系統的に編成します。</li> </ol>	<p>商船学科では、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>航海コースでは航海学、船舶運用学、海事法規、商船実務などを、機関コースでは主機・補機、電気・電子、機械、商船実務などの知識・技術を身につけ、それらを活用した船舶運航やマネジメントができる。</li> <li>課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を持ち、他者と協働できる。</li> <li>豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。</li> </ol>